

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TODAY児童デイサービス東船橋		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 5日		2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 5日		2024年 12月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だとと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されています。	運動/療育を目的としたレクリエーション活動を毎日提供しています。 ご利用者が必ず1回は体験できる様、プログラムの切り替え時期を1週間毎に決めています。	全従業員が立案・意見が出来る場を設けて行きます。 ご利用状況では2回~4回、体験出来るので、日々成長を図ることが出来るようサポートし、回数を重ねても楽しみ続けられる内容と、ご利用者様との関わりを持ち、取り組んで行きます。
2	ご利用者様が安心して通うことが出来ています。	ご利用者様の性格や興味がある事、強みを理解し1人1人丁寧にコミュニケーションを行っています。	毎日通うことが楽しみに繋がるよう、ご利用者様と関わって行きます。 活動プログラムでは、ご利用者様に合わせた支援やサポートを行い、成功体験に繋げ満足度を高めて行ける様、取り組んで行きます。
3	ご利用者様のニーズに沿った放課後等デイサービス計画と支援が作成され提供できています。	ご面談の際、お子様の取り組みや成長の様子を丁寧に伝えしています。ご自宅・学校での取り組みを伺い事業所でも取り入れ、支援の統一を図っています。	課題に対し細かく段階を作り、成功体験に繋げるためモニタリング/アセスメントを強化していきます。 お子様が無理なく達成できる目標とご家族様の相談支援を行って行きます。

	事業所の弱み(※) だとと思われること ※事業所の課題や改善が必要だとと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと機会が少ない。	他事業所や環境に関する知識不足が考えられます。	外部研修の参加を行い知識を増やしていく。 周りの環境と交流を行う事を施設内で検討と計画を行う。
2	定期的に、面談や子育てに関する支援等を行う機会が少ない。	ご家族様と会話を行う機会が、ご利用後の引き渡しの際と個別支援計画書の更新時期のご面談の際がほとんどになり、お子様についての話題が多く、ご家族様の困りごとを聞き出せていない。	家族支援を強化していきます。 ご家族様の困りごとを施設内で共有し、面談や相談を行い、ご家族様の負担を軽くすること。
3	非常災害の発生・緊急対応・感染症対応等のマニュアルや委員会・研修・訓練実施結果後の、ご家族様への周知が弱い。	お子様の活動の様子をお伝えする機会が多いが事業所での取り組みの報告を行う機会が少ない。	月1回、配布するパンフレットにて非常訓練の結果報告を加え行なって行きます。